

竹崎 久美子

TAKEZAKI, Kumiko

教授

連絡先: takezaki@cc.u-kochi.ac.jp

PROFILE

生年 1960

研究者略歴

- **所属** ①看護学部看護学科
②大学院看護学研究科 (2005年～)
- **学位** 博士 (看護学) (高知女子大学、2005年)
- **学歴・職歴**
高知女子大学家政学部看護学科卒 (1983)、聖路加看護大学大学院前期博士課程修了 (1993)、高知女子大学大学院健康生活科学研究科後期博士課程修了 (2005)、北里大学病院看護師、北里大学看護学部地域看護学助手、兵庫県立看護大学老人看護学講師・助教授
- **専門分野** 老人看護学、災害看護学、質的研究方法
- **所属学会**
日本看護科学学会、日本老年看護学会、日本老年社会科学会、日本老年医学会、日本災害看護学会、日本質的心理学会
- **講義科目**
【学部】 老人看護学総論、老人の健康と看護、老人看護援助論、看護基盤実習、生活援助論Ⅱ、看護過程論、看護哲学と倫理、ふれあい看護実習、看護研究
【大学院】 老人看護論、在宅老人ケアシステム論、老人看護展開論、在宅看護展開論、老人看護学実践演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、地域・在宅・老人看護課題研究、臨床看護学研究演習Ⅱ、臨床看護学研究方法Ⅰ・Ⅱ、老人看護ケア研究、臨床看護学/地域保健学研究演習Ⅰ、看護倫理

DATA

主な功績

主要研究業績等

- ・竹崎久美子：北米の大学院教育で使われている論文の質評価に関するキーワードと動向、看護研究、42(5) (2009)
- ・鍋島理佐、奈良真梨子、村田美奈、溝口愛子、竹崎久美子：地域における自立高齢者の介護予防を目的とした場への参加継続につながる要因とその効果、34(1)、pp.142-148 (2009.6)
- ・永井桜子、高橋利枝、平野よしみ、岡村知佳、竹崎久美子：在宅療養を継続している夫婦のみ的高齢者世帯における要介護者の思い、高知女子大学看護学会誌、33(1) (2008.6)
- ・宮崎恵美、尾崎啓、上田富美、下村敬子、中川智子、森本雅史、竹崎久美子：新人看護師が自分に自信が持てるようになるための先輩のかかわりとは、看護部マネジメント、No.280、9/15、pp.22-25 (2008)

主な社会貢献など

- ・日本災害看護学会 指名理事 (H20年度～)
- ・日本老年看護学会 評議委員 (H18年度～)
- ・日本看護科学学会 評議委員 (H19年度～H22年度)

高知県看護協会研修会講師

- ・エキスパート研修会講師「研究倫理」「評価研究」
- ・臨床指導者講習会「老人看護」

中高生・県民・地域住民向け講義

- ・放送大学面接授業『高齢者と高齢者ケア』(2008年8月)
- ・高知市民大学 講師「家族と介護」(2008年12月26日)
- ・健康長寿出前講座 (2010・2011年)
- ・いの町民講座『脳の活性化トレーニング』(2011年)
- ・高校出前講義 講師

研究 SEEDS

研究テーマ・研究概要

- ・高齢者の「居がい(いきがい)」について：高齢になっても要介護になっても、高齢者が生きていることそのものに甲斐を感じられるケアについて探求している。
- ・小規模デイサービス/小規模多機能型施設の場づくりとケア効果について：上記を提供する場の一つとして、また安心して日々を過ごすことを支援する拠点としての小規模デイサービスのあり方やケア効果について探求。
- ・高齢者の体型と歩行パターンに応じた生活活動範囲回復のためのセルフケアプログラム開発：不活動症候群に伴う転倒リスクを軽減し、歩行の安定性を増すための簡単な運動を個々の状態に応じて提案し、生活の活動範囲拡大をはかる。
- ・Grounded Theoryを用いた質的研究方法について：シンボリック相互作用論をベースとした研究方法であるGrounded Theoryを用いた研究に関する、分析方法について

相談可能な領域

- ・高齢者の健康増進に関すること
- ・要介護高齢者のケアに関すること
- ・認知症高齢者のケアに関すること
- ・災害看護に関すること：被災者の生活支援に関する
- ・初動期、中・長期における看護活動に関する研究
- ・質的研究方法に関すること：研究支援を含む

キーワード

- ・老人看護
- ・いきがい
- ・認知症
- ・小規模デイサービス
- ・災害看護
- ・質的研究方法